

管内検査カメラ ロースコープ i2516 / i2522

取扱説明書



ロースコープ i2516



ロースコープ i2522

【ご使用前に必ず本書をお読みください。】

ロースコープ i2516/i2522

安全にご使用いただくために

このたびは、ロースコープ i2516/i2522 をお買い上げいただきましてありがとうございます。

- この取扱説明書は、お使いになる方に必ずお渡しください。
- ご使用前に必ず本書を最後までよく読み、確実に理解してください。
- 適切な取扱いで本機の性能を十分発揮させ、安全な作業をしてください。
- 本書は、お使いになる方がいつでも取り出せるところへ大切に保管してください。
- 本機を用途以外の目的で使用しないでください。
- 商品が届きましたら、ただちに次の項目を確認してください。
 - ・ ご注文の商品の仕様と違いはないか。
 - ・ 輸送中の事故等で破損・変形していないか。
 - ・ 付属品等に不足はないか。

万一不具合が発見された場合は、至急お買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

(本書記載内容は、改良のため予告なしに変更することがあります。)

警告表示の分類

本書および本機に使用している警告表示は、次の3つのレベルに分類されます。



危険

本機に接触または接近する使用者・第三者等が、その取扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、死亡または重傷を招く差し迫った危険な状態。



警告

本機に接触または接近する使用者・第三者等が、その取扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、死亡または重傷を招く可能性がある危険な状態。



注意

本機に接触または接近する使用者・第三者等が、その取扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、軽傷または中程度の傷害を招く可能性がある危険な状態。
または、本機に損傷をもたらす状態。

目次

安全上のご注意	2	スクリーンアイコン一覧	13
製品の構成	5	MENU アイコン一覧	14
各部の名称	5	LED の明るさを調整する	15
仕 様	6	ズーム	15
別販売品	6	静止画を撮影	15
準 備	7	動画を撮影	15
充電	7	撮影データの確認	17
運搬および設置	8	撮影データの操作	17
カメラケーブルの接続 (ロースコープ 1000)	8	カメラを使用する	19
カメラアクセサリの取付け (ロースコープ 1000)	9	Wi-Fi の接続 (アプリ)	19
カメラケーブルの接続 (ロースコープ 2516)	9	Android 端末での接続方法	19
カメラケーブルの接続 (ロースコープ 2522)	10	iOS 端末での接続方法	19
SD カードを入れる・取出す	11	発信機を使用する (ロースコープ 2516 のみ)	23
使用方法	12	パソコンと接続する	24
起 動	12	保守・点検	25
ライブモード	12	修理・サービスを依頼される前に	26
ボタン操作一覧	12		

安全上のご注意

- ここでは、本機を使用するにあたり、一般的な注意事項を示します。
- 作業要所での詳しい注意事項は、この後の各章で記載しています。

⚠ 危険

- ◆ 修理技術者以外は絶対に分解しないでください。
- ◆ 改造は絶対に行わないでください。
- ◆ 本機を使用用途以外の用途には使用しないでください。
本機は、当社商品に接続し、一般的な機械内や配管内の画像等を表示させる機械です。

⚠ 警告

- ◆ カメラケーブルを取り扱うときには、必ずゴム（皮）手袋を着用してください。
作業中、カメラケーブルに異物が付着する場合があります、手に傷を負う恐れがあります。
- ◆ カメラ部は防水（P.6 仕様を参照）ですが、本体は防水ではありません。本体は雨中、水中や濡れた手で操作しないでください。
雨中や濡れた手で電源プラグを抜き差ししたり、各スイッチ類、コネクタ類を操作すると感電する恐れがあります。
- ◆ 電源プラグは、常に点検し異常がないことを確認した上、ガタツキがないように、しっかりとコンセントに差し込んでください。
電源プラグに、埃や油脂分が付着していたり、接続が不完全な状態では、感電や火災の原因となります。
- ◆ 電源コードを引っ張ったり、電源コードでプラグの抜き差しを行わないでください。
感電や火災の原因となります。
- ◆ 充電器の電源は交流 100V を使用してください。
発熱、発煙、発火の原因となります。機銘板、本取扱説明書に記載の仕様を参照してください。
- ◆ ガソリンやシンナー、可燃性ガスが漏れる恐れのある場所では使用しないでください。
- ◆ 腐食性の化学薬品にはさらさないでください。
- ◆ 粉じんが多い場所で使用しないでください。
爆発や発熱、本機の故障の原因となります。
- ◆ 本機から離れるときや、停電、保守、点検のときは、必ずスイッチを OFF にして電源プラグを抜いてください。
- ◆ 雷が鳴ったら、使用を中止し、触れないでください。
感電の原因になります。
- ◆ 使用中はカメラヘッド部に手を触れないでください。
高温になっており、火傷の恐れがあります。

ロースコープ i2516/i2522

⚠ 注意

- ◆ 本機を担当者以外に操作させないように管理してください。
- ◆ 結果の予測ができない、または確信の持てない取り扱いはしないでください。
- ◆ 本機に負担のかかる無理な使用はしないでください。
無理な作業は本機の損傷を招くばかりでなく、事故の原因にもなります。
- ◆ 作業場など本機の周辺は整理整頓し、常にきれいな状態を保ってください。
作業環境が悪いと事故の原因となります。
- ◆ 本機は、精密機器です。本機を高温や多湿になるところ、直射日光のあたるところ、振動のあるところでは、使用や保管をしないでください。
故障の原因となります。
- ◆ 磁気が発生するところや電磁波が発生するところ【電子レンジやテレビ、ゲーム機など】からはできるだけ離れて使用してください。
テレビ・スピーカー・大型モータ・マイコンを含めたデジタル回路などの強い磁気により記録が損なわれたり、画像がゆがむ・乱れることがあります。
- ◆ 疲労、飲酒、薬物などの影響で作業に集中できないときは操作しないでください。
- ◆ 本機を使用しないときは、乾燥した場所で子供の手の届かない、または鍵のかかる場所に保管してください。
- ◆ ガソリン、化学薬品などの配管検査に使用しないでください。
事故や故障の原因となります。
- ◆ お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。
汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと乾いた布でふいてください。
シンナー・アルコール・台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変形したり、塗装がはげる恐れがありますので使用しないでください。
- ◆ 撮影するもの・環境によって実際の色とは違う色が映し出されることがありますが、カメラの性能によるもので異常ではありません。
- ◆ 本書および当社カタログに記載されている指定の付属品、別販売品以外は使用しないでください。
事故や故障の原因となります。

⚠ 注意

- ◆ 本機を落としたり、ぶつけたり、衝撃を与えないでください。また、落としたり、ぶつけたりした場合は、使用を中止し、修理を依頼してください。
使い続けると、ケガや事故の原因となります。
- ◆ 各部に変形、腐食などがいないか日常点検を行ってください。
- ◆ 本機の異常（異臭、振動、異常音）に気づいたときは、ただちに停止し、本書の P.33「修理・サービスを依頼される前に」を参照してください。また、むやみに分解せず、点検や修理を依頼してください。
修理はお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ◆ 液晶モニタを強く押えないでください。
画面にムラが出たり、故障の原因となります。
- ◆ LED を直視しないでください。
目を傷める恐れがあります。
- ◆ 寒冷地などで、本機が冷え切っている場合、電源を入れた直後は液晶モニタが通常よりも少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。
- ◆ 撮影内容の補償はできません。
本機および SD カードの不具合で撮影や録画されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。
- ◆ 砂、ほこり、水などが本機にかからないように使用してください。
本機の隙間から砂などが侵入し故障の原因となります。

ロースコープ i2516/i2522

製品の構成

各部の名称



発信機ランプ
発信機スイッチ



カメラケーブル
1000



モニター

電源スイッチ

カメラケーブル
2516 組



モニター

電源スイッチ

カメラケーブル
2522 組

ROSCOPEi2516/i2522

仕 様

品 名		ロースコープ i2516	ロースコープ i2522
コード No.		R10842	R10860
カメラ ヘッド ・ カメラ ケーブル	適用口径	φ 30 ~ φ 100mm	
	曲管通過能力	φ 40 ~ φ 100mm	
	外径×長さ	φ 25mm × 16m	φ 25mm × 22m
	照 明	高輝度 LED 4 灯	高輝度 LED 8 灯
	防水能力	水深 16m	水深 22m
	焦点範囲	75mm ~ ∞	40mm ~ 140mm
	許容曲げ半径	150mm	150mm
	自動水平	有	無
	発信機 周波数	512Hz	—
モニター		3.5 型 TFT カラー液晶モニター	
記録メディア		SD カード (4GB)	
解像度		【静止画】 720 × 480 (JPEG)、【動画】 320 × 240 (WAV)	
インターフェース		USB 出力 ※データの転送のみ、TV などに映像を映し出すことはできません	
電 源		リチウムイオンバッテリー 3.7V、5.2Ah 単 3 形アルカリ電池 2 本 (発信機用)	リチウムイオンバッテリー 3.7V、5.2Ah
質 量		4.4kg	3.6kg
大きさ (L × W × H)		400 × 390 × 280mm	340 × 340 × 180mm
周囲温度	使用時	0℃ ~ 40℃ (結露しないこと)	
	保管時	- 20℃ ~ + 60℃ (結露しないこと)	
標準付属品		ロースコープ i2000 本体	ロースコープ i2000 本体
		カメラケーブル 1000 (No.R69601)	カメラケーブル 1000 (No.R69601)
		カメラケーブル 2516 組 (No.R15052)	カメラケーブル 2522 組 (No.R69603R)
		単 3 形アルカリ電池 2 本	-
		AC アダプタ (No.R151227)	
		USB ケーブル	
		プラスチックケース	
		取扱説明書 (No.IM0459)	

製品の構成

別販売品

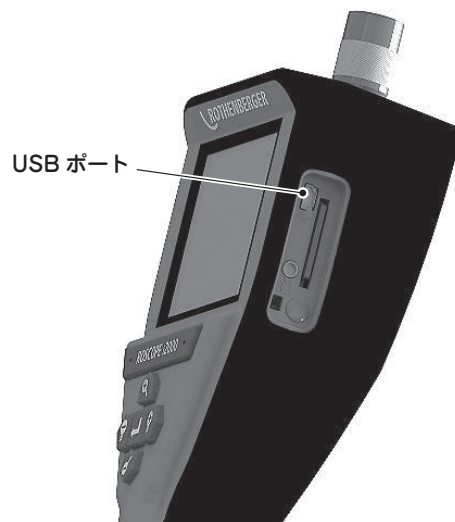
機種名	コード No.	品 名
カメラケーブル 1000	R69615	カメラアクセサリ (フック、マグネット、ミラーのセット)
カメラケーブル 2516 カメラケーブル 2522	R74629	2516・2522 用ガイドボール

ロースコープ i2516/i2522

準備

充電

- 付属の AC アダプタもしくは USB ケーブルを使用して充電してください。
- お買い上げ時バッテリーは充電されていませんので、充電してからお使いください。
- 約 5 時間の充電で、約 3 ～ 5 時間使用可能です。ただし、使用状況によって異なります。
- 充電完了後にバッテリーを長時間放置すると、バッテリーは消耗します。
- バッテリーは充電回数が増えると、使用時間が短くなる特性を持っています。長く使用するためには、頻繁な継ぎ足し充電を避けてお使いいただくことをお勧めします。
- 正しく充電したにもかかわらず、著しく使用できる時間が短くなったときは、寿命と考えられます。弊社へ修理をご依頼ください。



- ① 付属の AC アダプタもしくは USB ケーブルを本体、右側面にあるポートカバーを外して、USB ポートに挿して充電してください。

AC アダプタのプラグは平型のピンが縦に 2 つ並んだ穴付のものを取り付けてください。

- ② 充電中は正面に赤色 LED が点灯します。充電が完了すると消灯します。

▲ 注意

- ◆ 周囲温度 0℃以下、40℃以上で使用しないでください。
- ◆ 湿気の多い、濡れた、または爆発性の環境の中で充電しないでください。
発熱、発煙、発火の原因となります。

運搬および設置

- 運搬の際は、必ず収納ケースに入れてください。

⚠ 警告

- ◆ 雨中や本体内部に水が入りやすい場所では、使用しないでください。
また、濡れた手で操作しないでください。
本体内部に水がかかると、ショートや感電する恐れがあります。
- ◆ 粉じんの多い場所で使用しないでください。
爆発や発熱、本機の故障の原因となります。

準備

カメラケーブルの接続（カメラケーブル 1000）

- 本機の電源が切れていることを確認してください。
- ① 本体側のコネクタとカメラケーブル側のコネクタの凹凸を合わせて、まっすぐ差し込んでください。
 - ② ねじを締めてください。
 - ③ 取外すときは、ねじを緩め、まっすぐ抜いてください。



⚠ 注意

- ◆ 必ず電源を切った状態で行ってください。
故障の原因となります。
- ◆ 無理に差し込んだり、外したりしないでください。
コネクタが破損する恐れがあります。
- ◆ コネクタのピンが変形していないか確認してください。
変形している場合は、修理を依頼してください。

カメラアクセサリ取り付け（ロースコープ 1000）

- ① カメラヘッドの溝へフックのリングを差込み、1/4 回転させます。
- ② 別のミラー、マグネットを使用する場合も同様に取付けます。

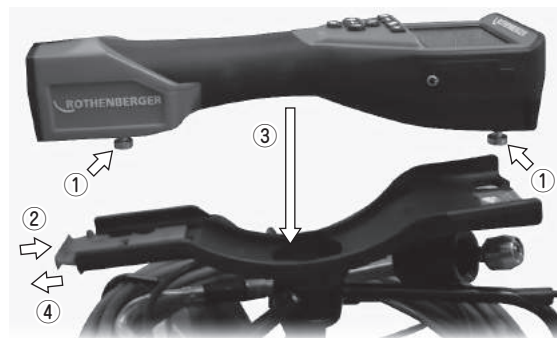
⚠ 注意

- ◆ 確実に取付けてください。
確実に取付けないと、使用中にアクセサリが落下し、思わぬ事故を招く恐れがあります。

ロースコープ i2516/i2522

カメラケーブルの接続（カメラケーブル 2516）

- 本機の電源が切れていることを確認してください。
- ① ロースコープ本体にマグネットプラグをねじ込んでください。（4本）
- ② ホルダーのスライダーを押した状態にします。
- ③ ②の状態でもうロースコープ本体をセットしてください。
- ④ スライダーを放すとロックされます。
- ⑤ コイルケーブルをロースコープ本体に接続してください。
本体側のコネクタとカメラケーブル側のコネクタの凹凸を合わせて、まっすぐ差し込んでください。



▲ 注意

- ◆ 必ず電源を切った状態で行ってください。
故障の原因となります。
- ◆ マグネットプラグは、つば元までしっかりとねじ込んでください。
- ◆ 無理に差し込んだり、外したりしないでください。
コネクタが破損する恐れがあります。
- ◆ コネクタのピンが変形していないか確認してください。
変形している場合は、修理を依頼してください。

カメラケーブルの接続（カメラケーブル 2522）

- 本体の電源が切れていることを確認してください。
- ① ロースコープ本体をカメラケーブル 2522 へセットしてください。
- ② 本体側のコネクタ B とカメラケーブル側のコネクタの凹凸を合わせて、まっすぐ差し込んでください。
- ③ ねじを締めてください。
- ④ 取外すときは、ねじを緩め、まっすぐ抜いてください。




▲ 注意

- ◆ 必ず電源を切った状態で行ってください。
故障の原因となります。
- ◆ 無理に差し込んだり、外したりしないでください。
コネクタが破損する恐れがあります。
- ◆ 自動水平機能は、使用できません。
- ◆ クリアスコープカメラケーブルも使用できます。次のカメラケーブルは、使用することができません。
クリアスコープケーブル（コード No. TH010、TH011、TH012、TH013、TH015、TH011S、TH013S）

ロースコープ i2516/i2522

SD カードを入れる・取出す

- ① ポートカバーを外してください。
- ② SD カードを入れるときは、SD カードの向きに注意して「カチッ」と音がするまで奥まで入れてください。
カードを奥まで入れないと、カードが壊れる原因となります。
- ③ SD カードが取付けられると、SD カードアイコンがモニターの右下に現れます。



▲ 注意

- ◆ SD カード以外は挿入しないでください。
miniSD カード、microSD カードは必ず専用アダプタに入れてから、本機に挿入してください。
その他ゴミ等が入ると故障の原因となります。

- ④ SD カードを取出すときは、「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き抜いてください。

▲ SD カードに関する注意事項

- ◆ データの書き込み・読み出し中に、本機の電源を切らないでください。
SD カードの故障、保存データを損失する恐れがあります。
- ◆ SD カードを高温になるところや直射日光のあたるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しないでください。
- ◆ SD カードを水に濡らしたり、濡れた手で触れたりしないでください。
- ◆ SD カード裏の端子部にゴミや水、異物などを付着させないでください。
また手などで触れないでください。
- ◆ SD カードを破棄・譲渡の際は、SD カード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使って SD カード内のデータを完全消去することをおすすめします。
本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「消去」では、SD カード内のデータは完全に消去されません。
- ◆ SD カード内のデータは、お客様の責任において管理してください。

使用方法

起 動

- ① 本体側面の電源スイッチを押して起動します。



▲ 注 意

- ◆ カメラが接続されていない状態では、正常に起動しません。必ずカメラケーブルを接続したうえで起動させてください。
- ◆ 濡れた手で操作しないでください。

ライブモード

- ライブモードとは、カメラが映している映像がそのままモニターに映し出されている状態のことです。ライブモードでは、静止画・動画の撮影、LED 明るさ調整、ズームを行うことができます。本体を起動させたときには、ライブモードとなっています。

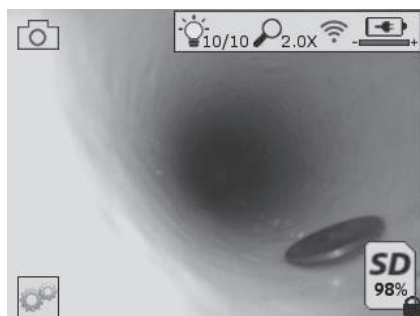
ボタン操作一覧









ボタン	ボタン名	説 明
	決 定	映像 / 画像を撮影します
	ライト	LED の明るさを調整します
	ズーム	+ 拡大、- 縮小

ロースコープ i2516/i2522

スクリーンアイコン一覧

● スクリーンアイコンはモニターをタップすると表示されます。選択をしないと 3 秒後に消えます。













アイコン	アイコン名	説 明
	バッテリー容量インジケータ	バッテリーの残量、充電中を表示します
	Wi-Fi	Wi-Fi の発信しています
	ズーム	ズーム値を表示します (1.0 ~ 2.0)
	ライト	カメラの光量を表示します (0/10 ~ 10/10)
	SD カード	SD カードが挿入されています SD カードの空容量を表示します
	SD カード書き込み禁止	SD カードが書き込み禁止状態を表示します SD カードのロックを解除すると消えます
	MENU ボタン	MENU 画面へ移動します
	静止画 / 動画撮影	静止画 / 動画撮影モードを表示します タップするとカメラが切り替わります

ROSCOPEi2516/i2522

MENU アイコン一覧

- MENU 画面でアイコンをタップすると変更できます

アイコン	アイコン名	説 明
	日時の設定	日時の設定を行います
	オートパワーオフの設定	無効 (∞)、10 分、20 分、30 分で設定が行えます
	ヘッドライトの ON/OFF	ヘッドライトの ON/OFF を行います ON の場合、ライブモード時に点灯します
	Wi-Fi の設定	Wi-Fi の設定を行います P.19 を参照してください
	自動水平の ON/OFF	自動水平 (2516、1000 のみ) の ON/OFF が行えます
	カラー / 白黒表示	カラー / 白黒の表示を切り替えられます
	SD カードのフォーマット	SD カードを初期化します
	撮影画像に日時表示	撮影画像に撮影日時を表示します
	マイクの ON/OFF	動画撮影時に音声を録音します
	戻る	設定を保存してライブモードに戻ります

ロースコープ i2516/i2522

LED の明るさを調整する

● ライブモードでは、  を押して LED の明るさを調整することができます。

①  を押すと“LED が明るく”なり、 を押すと“LED が暗く”なります。

② 画面右上に明るさの表示が出ます。10 段階で調整が可能です。

※ 電源を入れた時は、5/10 の明るさで点灯します。


ズーム


● ライブモードでは、デジタルズーム（2 倍）させることができます。

①  を押すと“ズームイン（拡大）”、 を押すと“ズームアウト（縮小）”します。

② 画面右上にズームの倍率が表示されます。

静止画 / 動画を撮影

● ライブモードでは、 を押して静止画を撮影することができます。

① モニター左上に、 が表示されていることを確認してください。



②  を押して、静止画を撮影してください。

▲ 注意

◆ SD カードが正しく挿入されていないと撮影できません。

動画を撮影


● ライブモードでは、 を押して動画を撮影することができます。

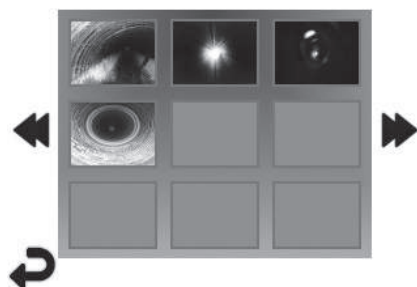
① 画面右上がカメラマーク  になっていれば、カメラマークをタップしてビデオマーク  に変えてください。






②  を押すと動画を撮影します。もう一度  を押すと撮影を終了します。

※ 撮影中は撮影中は赤丸に撮影時間が表示されます。

撮影データの確認

- ① ライブモード中に  を押すと、撮影したデータを確認することが出来ます。
- ② 画像をタップすると大きく表示されます。

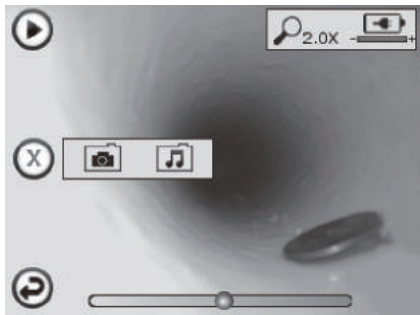


アイコン	アイコン名	説明
	動画ファイル	動画ファイルを示しています
	音声ファイル	静止画に音声が録音されていることを示しています
	前のページ	前のページに戻ります
	次のページ	次のページに進みます
	戻る	ライブモードに戻ります

ロースコープ i2516/i2522

撮影データの操作

- 静止画 / 動画を選択すると大きく表示され、動画の再生、音声の再生、音声の録音（静止画のみ）、データの削除を行うことができます。



アイコン	アイコン名	説 明
	戻る	画像データ確認画面に戻ります
	再生バー	動画、音声の再生位置を表示します
	前の画像	前の画像を表示します
	次の画像	次の画像を表示します
	録音開始	（静止画のみ）音声の録音を開始します
	録音終了	（静止画のみ）録音を終了します
	再生	動画、音声の再生を開始します
	一時停止	動画、音声の再生を一時停止します
	データの削除	表示している画像、動画を削除します
	音声データの削除	静止画の音声データのみ削除します
	画像と音声データの削除	静止画と音声データ両方削除します

- 画像を削除する場合、以下の確認画面が出ます。実行もしくはキャンセルを選択してください。



	実行（画像は消去されます）
	キャンセル



カメラを使用する

● ご使用になる前に

レンズキャップがゆるんでいないことを確認してください。ゆるんでいる場合は、増し締めをしてご使用ください。

- ① カメラをゆっくりと検査する場所、配管内などに入れてください。
- ② カメラを引き出すときは、ゆっくりとカメラケーブルを引き、水気等を取ってから収納ケースに入れてください。

▲ 注意

- ◆ カメラケーブルを強く引っ張らないでください。
カメラケーブルが折れたり、曲がってしまう恐れがあります。
- ◆ 挿入口から離れたところでカメラケーブルを持って挿入しないでください。
カメラケーブルのたわみが大きくなると、カメラケーブルが折れやすくなります。
- ◆ カメラケーブルの最小曲げ半径は（1000：75mm、2516/2522：150mm）です。
最小曲げ半径以下になると折損します。カメラケーブルは修理できないため有償での交換となります。慎重に作業してください。
- ◆ レンズ面を強く押さないでください。
- ◆ レンズを太陽に向けたまま放置しないでください。
集光により故障の原因になります。屋外や窓際に置くときは気をつけてください。
- ◆ 撮影する物・環境によって実際の色とは異なる色が映し出されたり、鮮明に映し出されない場合がありますが、カメラの性能によるもので異常ではありません。
- ◆ 温度差がある環境で使用するとレンズが曇り、鮮明な画像が映し出されないことがあります。
- ◆ 焦点範囲内に無い被写体は、ピントが合っていない画像になります。
- ◆ 自動露出機能により、画像が明るくなったり、暗くなることがあります。
- ◆ 砂、ほこり、水などが本体に掛からないように使用してください。
本体の隙間から砂などが浸入し故障の原因となります。砂などが浸入し故障の原因となります。

ロースコープ i2516/i2522

Wi-Fi の接続（アプリ）

Android 端末での接続方法

- ① 右の QR コードを読み取るか、Google Play で「ROSCOPE i2000」を検索して、ロースコープ i2000 のアプリをダウンロード・インストールしてください。



- ② Android 端末の Wi-Fi 設定を行います。
設定画面の「無線とネットワーク」の「その他の設定」を開いてください。

※ ご使用の端末によって表示が異なります。



- ③ 「テザリング」を開いてください。



- ④ 「Wi-Fi テザリング」を入りの状態にしてください。

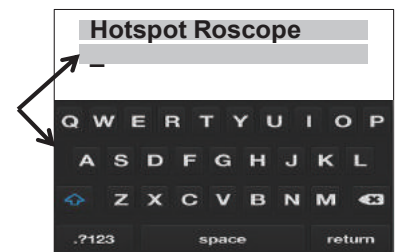
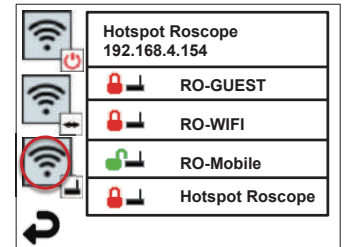


- ⑤ ロースコープ本体にカメラケーブルを接続して、電源を入れて、設定画面の Wi-Fi を開いてください。

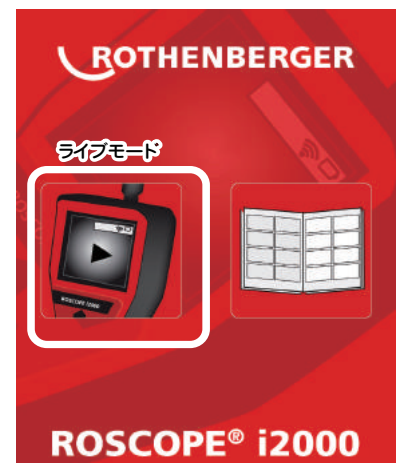
ROSCOPEi2516/i2522

- ⑥ 左下の Wi-Fi ホットスポットを選択し、Android 端末の Wi-Fi ホットスポットを選択して接続してください。

パスワードが設定されている場合は、Wi-Fi のパスワードを入力してください。

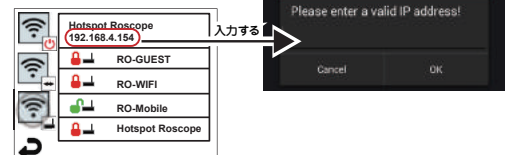



- ⑦ Andorid 端末にインストールしたロースコープ i2000 のアプリを起動してください。
- ⑧ ライブモードを開いてください。



Wi-Fiの接続

- ⑨ IP アドレスの入力を聞かれるので、ロースコープ本体に表示されている IP アドレスを入力して「OK」を選択ください。
- ⑩ 「Connect」と表示されたら、正しく接続できました。「OK」を選択してください。

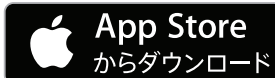


- ⑪ ロースコープ本体の Wi-Fi 設定画面および設定画面の左下の戻るボタンをタップし、ライブモード画面に戻ってください。
- ⑫ カメラの映像が Andorid 端末に表示されます。

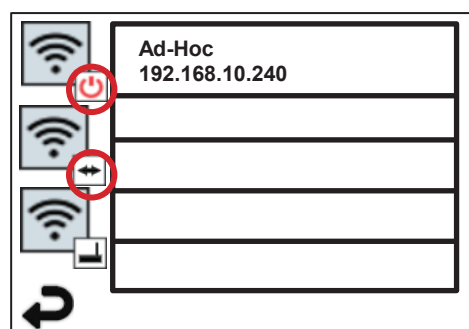
ロースコープ i2516/i2522

iOS 端末での接続方法

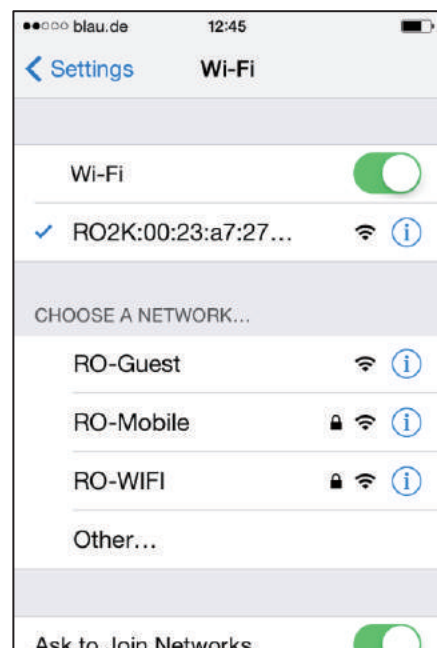
- ① 以下の QR コードを読み取るか、App Store で「ROSCOPE i2000」を検索して、ロースコープ i2000 のアプリをダウンロード・インストールしてください。



- ② iOS 端末の Wi-Fi 設定を行います。
ロースコープ本体の電源を入れてください。
Wi-Fi の設定画面で Wi-Fi が ON の状態であることを確認してください。
- ※ Wi-Fi アイコンの 1 番目と 2 番目のアイコン右下が緑色になっていれば Wi-Fi が ON の状態になっています。赤もしくは黒であれば切れています。



- ③ iOS 端末の Wi-Fi の設定画面を開いて、「RO」で始まるデバイスを選択してください。
- ※ 複数台お持ちの場合は、1 台ずつ電源を入れて各本体で設定する必要があります。



ROSCOPEi2516/i2522

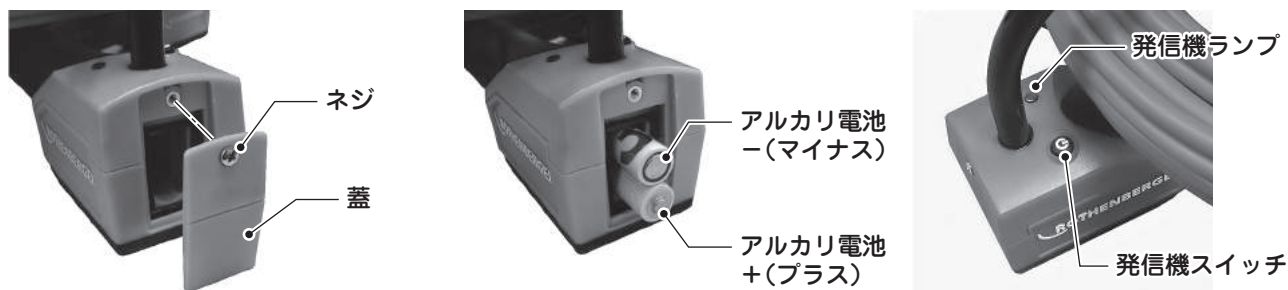
- ④ ⓘ のをタップして、Wi-Fiの詳細設定を行います。
 - ・自動接続を ON の状態にする
 - ・IP アドレス 静的を選択する
 - ・IP アドレスに『192.168.10.241』を入力する
 - ・サブネットマスクに『255.255.0.0』を入力する
 - ・ルーターに『192.168.10.240』を入力する
- ⑤ ロースコープ i2000 のアプリを起動している場合はホームボタンを 2 回押し、起動中アプリ一覧を表示し、ロースコープ i2000 のアプリを上からスワイプして、終了してください。
- ⑥ ロースコープをライブビューにして、ロースコープ i2000 のアプリを起動してください。
- ⑦ アプリのライブモードをタップするとカメラの映像が映ります。



ロースコープ i2516/i2522

発信機を使用する（ロースコープ 2516 のみ）

- 別販売品のローロックプラス（受信機）を合わせて使用すると、配管内にあるカメラヘッドの位置を特定することができます。



- ① ロースコープ 2516 に単 3 形アルカリ電池を 2 本入れ、蓋を閉じます。
- ② 発信機スイッチを押して発信機の電源を入れます。
電源が入ると発信機ランプが点灯します。この状態で常に発信機から電波が発信されています。
- ③ ローロックプラス（受信機）の使用方法については、ローロックプラス（受信機）の取扱説明書をご参照ください。



▲ 注意

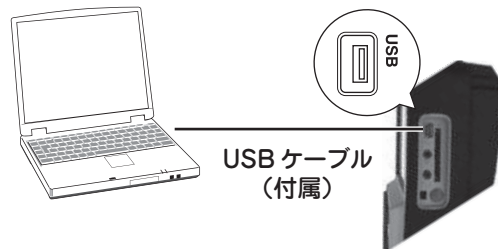
- ◆ 埋設された配管の深さ、位置、土砂等の状態によってはローロックプラス（受信機）で受信できないことがあります。
- ◆ 金属管には使用することができません。
金属管によって、発信機から発する電波が著しく減退し、ローロックプラス（受信機）で受信することができません。

ROSCOPEi2516/i2522

パソコンと接続する

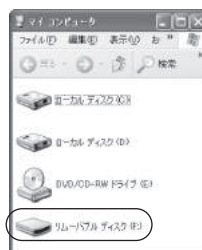
- 本機をパソコンと接続すると、本機の保存画像をパソコンに取り込むことができます。

- ① USB ケーブルを本機とパソコンに接続します。



- ② 本機の電源を入れてください。

- ③ 「マイコンピュータ」にある「リムーバブルディスク」をダブルクリックしてください。



- ③リムーバブルディスク
ダブルクリック

- ④ 取り込みたい画像の入っているフォルダやファイルをパソコン上の別のフォルダにドラッグアンドドロップして移動させてください。



- ④ドラッグアンドドロップでパソコンにコピー

※ パソコンに接続しても認識されない場合は、パソコンの設定が必要です。設定方法に関しては、お使いのパソコンメーカーにお問合せください。

▲ 注意

- ◆ SD カードの抜き差しは電源を切って、USB ケーブルを抜いてから行ってください。
データが破壊される恐れがあります。

- ◆ USB ケーブルをパソコンから取外す際は、パソコンのタスク
トレイの「ハードウェアの安全な取外し」を行ってください。



ハードウェアの安全な取外し

ロースコープ i2516/i2522

保守・点検

- 以下の箇所を定期的に点検・清掃し、適時修正または交換を行ってください。

⚠ 危険

- ◆ 修理技術者以外は、絶対に分解しないでください。
液晶モニターには、高電圧箇所があり、非常に危険です。
- ◆ 改造は、絶対に行わないでください。

⚠ 警告

- ◆ 清掃・点検のときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、電源が切れていることを確認してください。
電源の入ったままで、不用意に本機に触れると感電する恐れがあります。

⚠ 注意

- ◆ 清掃、点検のときはゴム（皮）手袋を着用してください。
カメラケーブルに異物が付着していることがあり、不用意に触れるとケガをする恐れがあります。
- ◆ 作業終了後、土・砂・水分など付着させたまにしないでください。
本機がさび付いて本機内部の故障の原因となります。
- ◆ ガソリン・シンナーなど有機溶剤を付着させないでください。
本機を傷める原因となります。
- ◆ モニター・スイッチ類には、水をかけないようにしてください。
コネクタ部は、防水仕様になっておりません。
- ◆ 子供の手が届かない場所か、鍵のかかる場所へ保管してください。
- ◆ 雨のかかる軒先などには保管しないでください。
- ◆ 直射日光が当たる場所に保管しないでください。

点検と清掃

- 各部に大きなキズ・ヒビなどがいないことを確認してください。
- 各可動部が正常に動くことを確認してください。
- 全体の汚れは柔らかい布でふき取り、汚れがひどいときは、水に浸した布を良く絞ってから汚れをふき取ってください。その後、乾いた布でふいてください。
- 使用後は全体を清掃し、付属の収納ケースに収納して保管してください。
- レンズが汚れている場合は、柔らかい布で軽くふくか、アルコールを少量布に付けてふいてください。

修理・サービスを依頼される前に

- 修理・サービスを依頼される前に下記の故障診断にしたがって点検してください。
それでも解決されない場合は、弊社またはお買い求めの販売店にご相談ください。
- 正しくご使用いただかない場合や、本商品の用途以外に使用して故障した場合は、保証の対象外となります。

現 象	原 因	対 策
映像が映らない	バッテリー残量不足	充電する
	バッテリー寿命	弊社にて修理または交換
	LED が暗い	LED ライトを明るくする
	カメラが接続されていない	カメラと本体を正しく接続する
	液晶モニターの故障	弊社にて修理または交換
	本機内電気配線が断線している	弊社にて修理または交換
	カメラヘッドの故障	カメラヘッドを交換する
	カメラケーブルが折れている	弊社にて修理または交換
映像が暗い	対象物までの距離が遠い	カメラを対象物に近づける
	LED が切れている	弊社にて修理または交換
	液晶モニターに太陽光が当たっている	モニターに太陽光が当たらないようにする
映像がぼやける / 映像が白っぽい	LED のライトによって対象物が反射している	LED ライトを暗くする
	レンズが汚れている	レンズを柔らかい布で拭く
SD カードに映像の保存ができない	SD カードが挿入されていない	SD カードを挿入する
	SD カードの容量不足	保存データを消す、または新しい SD カードを挿入する
	SD カードにロックが掛かっている	ロックを解除する
操作ボタンが動かない	砂等の噛み込み	ボタン周りの砂等を紙片で取り除く、または弊社にて修理
ノイズが出る	LED ライトが暗い	LED ライトを明るくする
アプリに接続出来ない	Wi-Fi が『切』の状態になっています	Wi-Fi を『入』の状態にする
	Wi-Fi の設定が行われていない	Wi-Fi の設定を行う (P.19 ～参照)

●お客様メモ

後日のために記入しておいてください。
お問合せや部品のご用命の際にお役に立ちます。

製造番号 :

購入年月日: 年 月 日

お買い求めの販売店

Asada アサダ株式会社

本 社 / 名古屋市北区上飯田西町3-60

TEL (052) 911-7165

E-mail: sales@asada.co.jp

支 店 / 東京・名古屋・大阪

営業所 / 札幌・仙台・さいたま・横浜
広島・福岡

海外事業所

アサダ・タイランド社
台湾浅田股份有限公司
アサダ・アールンコ マシナリー社
アサダ・ベトナム社
アサダ・インド社
上海浅田進出口有限公司
アサダ USA

(バンコク)
(台北)
(クアラルンプール)
(ホーチミン)
(ムンバイ)
(上海)
(レゴン州・ユーシ)

工 場

犬山工場 (愛知県・犬山市)
アサダ第一精工株式会社 (松 阪 市)
アサダ・マシナリー社 (バンコク)

製品の使用方法に関するお問合せは

 0120-114510 (イシゴト)

《受付時間》 9:00-12:00 / 13:00-17:00 (土・日・祝日は除く)

www.asada.co.jp

ver.01 AコードNo. IM0459